

国指定重要無形民俗文化財

おんだのまい

杉野原の御田舞

国の重要無形民俗文化財に指定されている杉野原の御田舞が、有田川町杉野原区の雨錫寺（うじやくじ）阿弥陀堂（国指定重要文化財）において、本年2月11日（火）午後1時から奉納されます。

「御田」とは神社や御堂で一年の稲作の生産過程を模倣的に演じる事により、その年の五穀豊穡を神仏に祈願する行事で、全国的にも大変貴重なものと評価されています。また、その冒頭で行われる「裸苗押（はだかなえおし）」は、禪姿（ふんどしすがた）の男達が円陣を組んで大火鉢の周りを回る舞で、杉野原の御田舞の特徴をなす大変勇壮なものです。

400年以上続く歴史ある伝統芸能をぜひご覧ください。



鬼追いドンド

あらぎ島周辺の清水区や三田区では、

節分の2月3日に「鬼追いドンド（鬼の口焼き）」と呼ばれる特徴的な火焼き行事が行われています。夕方に近所の数軒の家が、山で採ってきたゴンパチ（イタドリ）の枯柴を持ち寄り、道の辻や近くの畑に積み上げて焚きます。



ゴンパチは焚き上げると節が破裂して、爆竹のようにパンパンと威勢よく音を立てながら燃えるので、この音に鬼が驚いて邪気を祓うとされています。

ドンドの火に当たると無病息災になると言われ、とくに足や腰・お腹など身体の悪い部分をあぶるとよいとされています。また、ゴンパチの木やコウゾの木の先にダイコンの輪切りとイワシの尾頭を竹串で刺し、これを焚き火にかざして炙り、家の門に刺しておくといふ悪事災難が入らないとされています。

清水行政局前（紀陽銀行跡地）では、2月3日（月）午後5時頃から8時半頃まで、しみず中央商店会主催の鬼追いドンドが実施されます。